



道行き



道行き



田植囃子



代なるし

ふるさととは
今

早乙女華やか 時代絵巻 「水上町花田植」

水上町に室町時代から伝わる「水上町花田植」
雲一つない五月晴れのもと、5月14日に同町内の水田で行われました!!

この花田植は400年以上の歴史があり、市の無形民俗文化財に指定されています。五穀豊穡、無病息災を願うもので、田の神様への原始信仰の祭礼儀式から生まれたと言われています。

戦後一時期中断していましたが、昭和62年に地元の青年団が中心となって復活。以来、ほぼ4年に一度、町民で組織する実行委員会が中心となって続けられています。

本来であれば来年の実施となるとところ、今年は石見銀山遺跡が世界遺産登録10周年を迎える記念の年であることから、1年早めて開催されました。

はじめに町内の水上神社で安全を祈願したのち、2頭の飾り牛を先頭に、太鼓、笛などの囃子方や早乙女が行列を作って進む「道行き」で会場に到着しました。

約500人の見物客が見守る中、田の神様を迎える「田神おろし」を行った後、飾り牛が「代なるし」(代かき)を行い、いよいよ田植えとなりました。町内外から参加した早乙女姿の女性31人が水田に入って

横一列に並び、地元の小学生や大人たちが打ち鳴らす太鼓や笛などの田植囃子の調子に合わせ、約10アールの水田に苗を丁寧に植え付けていきました。

この伝統行事を守ろうと、高山小学校の児童や大田第三中学校の生徒も大勢参加。また今年は、邇摩高等学校の女子生徒11人が早乙女役として、男子生徒7人が用具調達係として参加し、花田植を盛り上げてくれました。

水上町郷土芸能保存会長を務める実行委員長の田中光治さんは、「町民の皆さんはじめ、邇摩高校の生徒さんなど多くの若者の参加があり、にぎやかに花田植を実施することができた。大切な伝統行事として長く継承していきたい」と話してくれました。

今回は4年後に開催予定です。これからも若い世代が参加し、この伝統が長く継承されることを願っています。

【お問い合わせ先】
水上まちづくりセンター

☎0854-891-0023

この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行/大田市役所政策企画部定住推進課 ☎:0854-83-8029 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口 1111 番地 E-mail: o-tiiki@iwamigin.jp <http://www.city.ohda.lg.jp/>
おおだの定住PRサイト「どがどが」 <http://www.teiju-ohda.jp/> どがどが 検索

